



あつたっくかわら版

第82号

平成30年2月9日発行

アルツハイマー型認知症の原因であると言われているアミロイドβというたんぱく質の蓄積は、発症の20～30年前からはじまり、蓄積がある人は症状がなくても将来発症するリスクが高くなるといわれています。

《第7回ケアマネサロン》

日時：3月13日（火）
14時00分～16時00分
場所：熱田区役所6階 研修室
内容：「難病患者が利用可能な医療・福祉制度について」
講師：公益社団法人愛知県医師会
医療安全・難病相談室 稲吉充匡氏

～くまざわ歯科～

歯がなくて噛めずにいる人は、歯がある人に比べ、認知症の発症リスクが1.9倍に増加するそうです。噛むことで頭部の血液循環がよくなることで脳が活性化されるためだと考えられます。認知症予防には噛むことも大切です。くまざわ歯科 院長 熊沢昌彦先生



今月の行事予定

- ・認知症の家族教室 2月19日（月）13:30～15:30（いろいろな制度についての話）
 - ・認知症の家族サロン 2月16日（金）13:30～15:30（訪問入浴について）
 - ・もの忘れ相談医の専門相談 2月23日（金）14:00～15:30（協立総合病院 小西淳一先生）
 - ・認知症サポーター養成講座 2月13日（火）13:30～15:00
 - ・事例検討 2月13日（火）14:00～15:00 担当：三菱名古屋病院 飯田将人先生
 - ・認定調査研修 2月13日（火）15:00～16:00 担当：熱田区役所介護保険係
- ※総合事業におけるサービス事業所一覧（熱田区及び隣接区）を別紙にて送付しています。
※高齢者の詐欺についての情報を別紙にて提供しています。



特記の書き方のポイント

特記は、審査会でどのように活用されるのかを考えて記載するのがポイントです！
審査会は、一次判定のマークの状態を確定し、介護の手間と認知の状況等を確認して介護度を決定します。
♪ということは・・・♪

- ・もしも日頃から大変だと感じている介助があるなら⇒そこは重点的な記載を！
- ・マークに反映されない介助がされているなら ⇒記載は必須！
- ・書いてもわからない⇒大変である。手間になっているという記載ではダメ！
誰がどのような介助をしているのかを簡潔な文章にしないと伝わらない！

- ・口腔の知識と口腔ケア講演会 3月15日（木）15:00～17:00

場所：熱田区役所7階講堂 参加：費無料 事前申込必要（別紙参照）

・確認報告書について：予防専門型訪問サービスで、「状態像の目安①に準ずる」に該当する場合、基準の①を選択し、身体介護が必要である客観的な心身の状況を記載します。その場合、訪問サービス計画書に身体介護の内容（一緒にどんな家事をやっているかなど）が記載されているか、またモニタリングに実際の身体介護の内容が記載されているかなど、整合性がとれていることが必要です。ご確認ください。

【発行】熱田区いきいき支援センター：熱田区神宮三丁目1番15号 熱田区役所等複合施設6階 TEL:671-3195 FAX:671-4019
いきいき支援センター分室：熱田区大宝三丁目6-26 シャンホール日比野1階 TEL:682-2522 FAX:682-2505

※『あつたっくかわら版』がフェイスブック・熱田区社会福祉協議会のHPでご覧いただけます。